

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-526975(P2020-526975A)

【公表日】令和2年8月31日(2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2020-035

【出願番号】特願2020-500649(P2020-500649)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/00 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/00

H 0 4 W 72/04

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月7日(2021.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のワイヤレスノードでのワイヤレス通信のための方法であって、

ワイヤレスバックホール通信ネットワークにおける、前記第1のワイヤレスノードと第2のワイヤレスノードとの間のワイヤレス接続を確立するステップと、

アクセス通信またはバックホール通信のうちの少なくとも1つにおける使用のために共通リソースの第1のセットを識別するステップであって、前記共通リソースの第1のセットは、前記ワイヤレスバックホール通信ネットワークの前記ワイヤレスノードによる共通使用のために割り振られる、ステップと、を含み、前記方法は、

アクセス通信またはバックホール通信のうちの少なくとも1つに利用可能な分割リソースの第2のセットを識別するステップであって、前記第2のセットは、前記ワイヤレスバックホール通信ネットワークの前記ワイヤレスノードのうちの1つまたは複数の選択サブセットによる使用のために各々が割り振られた複数のサブセットに分割され、前記ワイヤレスバックホール通信ネットワークの前記ワイヤレスノードのうちの1つまたは複数の前記サブセットのうちの少なくとも1つは、前記ワイヤレスバックホール通信ネットワークの複数のワイヤレスノードを含む、ステップと、

前記共通リソースの第1のセットまたは前記分割リソースの第2のセットを使って前記第2のワイヤレスノードと通信するステップをさらに含むことによって特徴づけられる、方法。

【請求項2】

メッセージを受信するステップをさらに含み、

前記共通リソースの第1のセットを識別するステップは、前記受信されたメッセージに少なくとも部分的に基づくか、または、

前記分割リソースの第2のセットのリソースの前記サブセットを識別するステップは、前記受信されたメッセージに少なくとも部分的に基づく、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記メッセージは、

コアネットワークの中央スケジューラ機能、または
前記ワイヤレスバックホール通信ネットワークの近隣ワイヤレスノード
から受信される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記メッセージは、最小システム情報(minSI)メッセージ、マスター情報ブロック(MIB)
メッセージ、システム情報ブロック(SIB)メッセージ、上位レイヤメッセージ、同期信号
、基準信号、無線リソース制御(RRC)メッセージ、またはそれらの任意の組合せを含む、
請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記共通リソースの第1のセット、または
前記分割リソースの第2のセットのリソースの前記サブセット
の少なくとも一部分を識別するメッセージを近隣ワイヤレスノードへ送信するステップ
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記第1のワイヤレスノードによって記憶された情報を使用することに少なくとも部分
的に基づいて、前記共通リソースの第1のセットおよび前記分割リソースの第2のセットの
リソースの前記サブセットを識別するステップ、または
前記共通リソースの第1のセットを使用して、前記ワイヤレスバックホール通信ネット
ワークの少なくとも1つの他のワイヤレスノードとのアクセス手順を実施するステップを
さらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記共通リソースの第1のセットを使用して、前記ワイヤレスバックホール通信ネット
ワークの少なくとも1つの他のワイヤレスノードとのアクセス手順を実施するステップを
さらに備え、前記アクセス手順は、同期手順、ランダムアクセス手順、システム情報手順
、基準信号手順、ページング手順、発見メッセージング手順、無線リソース管理手順、無
線リンク管理手順、またはそれらの任意の組合せのうちの少なくとも1つを含む、請求項1
に記載の方法。

【請求項8】

前記同期手順は、アクセス通信、バックホール通信、またはそれらの組合せのために前
記共通リソースの第1のセットの少なくとも一部分を使用して、同期信号を、または同期
チャンネル上で、通信することを含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記システム情報手順は、アクセス通信、バックホール通信、またはそれらの組合せの
ために前記共通リソースの第1のセットの少なくとも一部分を使用して、マスター情報ブ
ロック(MIB)、システム情報ブロック(SIB)、残存最小システム情報(RMSI)、または最小シ
ステム情報(minSI)のうちの少なくとも1つを通信することを含む、請求項7に記載の方法
。

【請求項10】

前記基準信号手順は、アクセス通信、バックホール通信、またはそれらの組合せのため
に前記共通リソースの第1のセットの少なくとも一部分を使用して、チャンネル状態情報基
準信号(CSI-RS)、または位置決め基準信号、またはビームフォーム基準信号(BRS)のう
ちの少なくとも1つを通信することを含む、請求項7に記載の方法。

【請求項11】

前記ページング手順は、制御チャンネル、もしくはデータチャンネル、またはそれらの組
合せのうちの少なくとも1つの上で通信することを含む、請求項7に記載の方法。

【請求項12】

ローカル通信における使用のために前記共通リソースの第1のセットのサブセットにつ
いての転用要求を示す第1の信号を送信するステップと、
前記共通リソースの第1のセットの前記サブセットについての転用承認を示す第2の信号

を、前記ワイヤレスノードのうちの少なくとも1つから受信するステップと、
前記第2の信号に少なくとも部分的に基づいて、前記共通リソースの第1のセットの前記サブセットを使用するステップとをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

ワイヤレス通信のためのワイヤレスノードであって
プロセッサと、
前記プロセッサと電子通信するメモリと、
前記メモリに記憶された命令とを備え、前記命令は、前記ワイヤレスノードに、
請求項1乃至12の何れか一項に記載の方法を行わせるように前記プロセッサによって実行可能である、ワイヤレスノード。

【請求項14】

ワイヤレス通信のためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードは、プロセッサによって、請求項1乃至12の何れか一項に記載の方法を行うように実行可能な命令を備える、非一時的コンピュータ可読媒体。